



文武両道 15の部活が全国へ



33年ぶりの快挙

全国での経験を糧に

軟式野球部 鈴木綾人

私たちは「全国大会出場」を目標に頑張ってきて、33年ぶりに全国切符を獲得できました。その目標を達成できて本当にうれしかったです。軟式野球の聖地である明石トーカロ球場に行ったり、全国の強豪校を見たりして、とても興奮しました。実際にいくつか試合を見てみて、軟式野球の特性を生かしたプレーをたくさんしていて、

とても参考になりました。結果は初戦敗退だったものの、全国のライバルと戦うことができ、良い経験になりました。後輩たちには全国でも自信を持ってプレーできるように普段の練習をより大切に、再び全国への切符をつかみ取ってほしいです。



伊藤那月さん(右)と練習パートナーの佐々木優那さん

通過点

陸上競技部 伊藤那月

三段跳びで東北高校新人選手権大会に出場した。昨年のシーズン終了後に立てた目標は12メートル。県・東北総体ではその目標に大きく近づく跳躍ができ、計画よりも早く「12」という数字に挑戦した大会だった。本番は満足のいく結果ではなかったが、当日までの助走へのアプローチやライバルたちの跳躍を見られたことが、次の目標への道標となった。また、仲間や先生方、OB・OGの方々にも応援していただき、陸上愛にあふれるこの環境で競技に臨めることに誇りを感じた。今回のインターハイも12メートルもあくまで通過点だ。この場所で陸上競技に打ち込めることに感謝を忘れず、まい進していきたい。

個々の力を信じて

硬式テニス部 美作匠人

私たちは、全国高等学校総合体育大会に、団体では5年ぶりの出場を果たしました。これまで支えてくださった先生、保護者の皆さまをはじめとする多くの方々への感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。私たちは、個々の力を信じ、諦めずに勝利を目指すことを目標に、練習に取り組み、自分たちでメニューを考え、工夫して活動してきました。惜しくも初戦敗退ではありましたが、インターハイ出場という形で結果を残すことができ、心からうれしく思っております。最後に、いつもテニス部を支持してくださっている方々へ、これからも応援をよろしくお願いいたします。

